



広報 ほうじょう

町の人口

(昭和57年7月31日現在)

	前月比較
男	3,953 (+14)
女	4,260 (+12)
計	8,213 (+26)
世帯主	2,676 (+2)



成人おめでとう

九十一人が大人の仲間入り

8月15日、午前9時から町民体育館で、成人式が行われました。本年度は91人が新しく大人の仲間入りをしました。

真夏の成人式は軽装で出席できる、またお盆は式の出席率が高いので、当町では昭和45年から、8月15日に成人式を行っています。

成人式では、稲富教育長、山口議長の祝詞のあと、中島町長から「理屈ぬきで信頼できる友達を大切に、又夢を持って皆さん方の若さを大切にして、悔いがない人生を送っていただきたい」と祝福の言葉があり、これに対し、成人代表



鉄谷夏江さん「誓いの言葉」

の鉄谷夏江さんが「一回しか巡りあえない成人式を迎え感激、責任と、自信と勇気をもって民主社会建設のために努力していきたい」と力強く誓いの言葉を述べました。

このあと記念講演では、成人としてあなたに望むと題して、粕屋郡須恵町公民館長、永島正夫氏から、「仕事に全力をつくせ、人から使われやすい人間になれ、あいさつが人と人との結びつきをつくる、心の中に尊敬する人物を描ける、先輩をたて物腰の低い人間になれ」など人生の指針となるすばらしいお話しが約一時間あり、最後に町青年団との交歓会で、全員輪になってリクレーションダンスを楽しみました。

9月のこよみと催し

- 1日 防災の日 二百十日
- 5日 町民囲碁大会
- 15日 敬老の日 老人福祉週間
- 19日 町民運動会
- 20日 航空の日 動物愛護週間
- 23日 秋分の日
- 24日 結核予防週間
- 26日 方城中学校運動会
- ” 社会人野球大会



優勝旗授与式

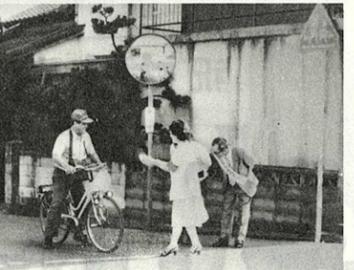
優勝おめでとう

二十六チームの頂点に 野添子ども会チーム

8月1日、第24回子ども会ソフトボール大会で、野添子ども会が優勝旗を手にしました。この大会は子どもたちの体育の向上と、親ばくを図るため始められたもので、今年でちょうど24回目になります。プレイボール時には、曇っていた空も昼頃には青空が雲の間から顔を出し、絶好のソフトボール日和となり、参加した26チームの選手たちは、30度を越す暑さの中で、一生懸命プレーしました。会場は町民グラウンドほか二カ所4パートで行われました。

同和問題で街頭啓発

同和問題啓発強調月間がスタートした7月1日、町内6カ所で行った三役、正副議長、学校長、課長、課長補佐、連絡役員等が街頭啓発活動を行いました。伊方八幡町の交叉点では、山口議長さんたちが、道行く人たちに「同和問題について正しい理解と認識を」と訴えました。

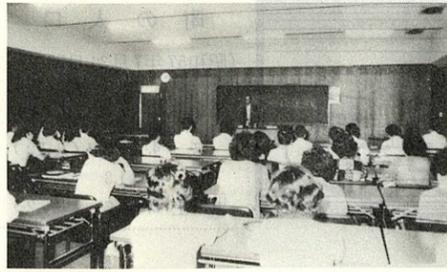


八幡町交叉点

行政職員研修会

「同和問題と行政のかかわり」

講師 吉尾 祚氏

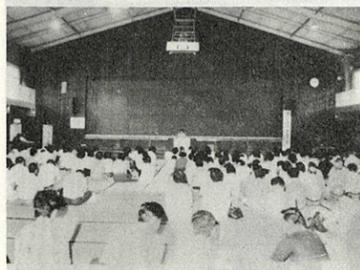


7月12日 中央公民館

講演会

「最近の差別事件と社会啓発の証明」

大阪部落解放研究所 加藤敏明氏

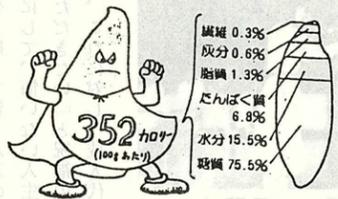


7月15日 町民体育館

栄養素からみたお米の評価

お米は植物性たんぱく質としてすぐれた栄養価をもっていることを忘れてはいけません日本人の主食であるお米には、どのような栄養素が含まれているのでしょうか。

日ごろ口にしている白米は、77パーセントのデンプン（炭水化物）と約7パーセントのたんぱく質が主な成分となっています。さらにミネラル、ビタミンなどいろいろな栄養素が含まれています。そのうえ、消化吸収率も98パーセントとさわめてすぐれており、白米100g当たり352カロリーの栄養量を



含んでいるのです。また、たんぱく質という点、肉や魚を思い浮かべますが、お米も大変すぐれたたんぱく源なのです。いろいろな食品と比べてみるとすぐわかります。

図のように、卵をもっとも理想的なたんぱく質として100の単位で表わすと、お米のたんぱく質は77です。植物性たんぱく質が豊富なものとして知られている大豆のたんぱく質は55ですから、それを大きく上回っています。お米は植物性食品ですが、動物性食品の牛乳や肉類などといった同じ水準です。そして日本人はたんぱく質摂取量の約18パーセントをお米からとっているのです。お米を減らせば、その大切なたんぱく質も減ることになり、その代わりに魚や大豆製品などを補わなければ健康は保てません。砂糖のように、糖質（炭水化物）としてしか供給しない食品とは、まったく違うのです。

運転免許証を即日交付します

県下四試験場で八月十一日から

- 一、即日交付を次のとおり実施します。
 - (一) 実施日 8月11日（水曜日）から
 - (二) 即日交付となる免許証の種類
 - ・新規免許証
 - ・併記免許証
 - ・再交付免許証
 - (三) 受付場所
 - ・福岡試験場、筑後試験場
 - ・筑豊試験場
- ※北九州試験場については、昭和57年1月20日から実施済み。
- 二、試験日は次のとおりです
 - ・大型免許、普通免許、小型特殊免許（月、水、木、金曜日）
 - ・自動二輪免許、原付免許（火曜日）
 - ・大型特殊免許（水、金曜日）
 - ・けん引免許（月・木曜日）
 - ・普通仮免許（月・水・木・金・土曜日）
- ※ 大型・大特・けん引の二種免許及び大型二輪免許は福岡試験場だけで行います。
- 福岡試験場以外では、試験車持込みの人に限られます。
- 三、受付時間は次のとおり一部変更します。
 - ・新規免許試験受験者
 - ▲ 新規受験者、午前8時30分～9時
 - ▲ 学科、技能の双方が免除される人（期限切れの人など）午後1時～1時30分
 - ・再交付申請書、午前8時30分～午後2時（土曜日は、午前8時30分～10時）

お互いの人権を尊重し、差別のない町づくりを

第六回方城町民剣道大会

汗を流した八十五名



7月4日（日）第6回方城町民剣道大会を開催しました。この日出場した剣士たちは総数85名で、昨年の大会に比較すると18名多く、年々剣道人口は増加の傾向をたどっており、これは小中学生の心身の鍛錬、及び次代の当町の「剣道指導者」「剣道人口」を育成する、という意味からいって誠に喜ばしい傾向です。大会は町民体育館で午前九時から始められました。日頃の練習の成果を100パーセント発揮、熱戦が展開されました。

中学生の部	三位 橋本 準士
優 勝	池本 雅和
二位	加来 剛
三位	近藤 央
高校生の部	優 勝 勝本 浩一
二位	今井 義一
三位	関岡 純孝
一般無段者の部	優 勝 原田 正昭
二位	大庭 秀隆
三位	田中 清睦
青年有段者の部	優 勝 中山 正和
二位	林 志津雄
三位	高木 彦太郎
壮年有段者の部	優 勝 勝木 一郎
二位	田島 靖
三位	岡本 国義

(敬称略)

隠田池にて人命救助

久富征支さん奮闘

8月2日、午後6時頃、久富征支（久六団地 44才）さんは、隠田池（久六）でおぼれかけていた長岡一美（中学二年）さんを助けました。長岡さんはキャッチボール中、池に落ちたボールをひらおうとして誤って池に落ちました。アヒルを泳がせていたのですが、



長岡さんに「泳げるのか」と聞くと「泳げない」といったので、あわてて救助したものです。水泳には自信のある久富さんは簡単に岸に助けあげられると思い、長岡さんに近づいたのですが、なかなか思うようにいかず、奥さんに沈みかけたりしました。奥さんと近所の人達が、竹を投げて応援その竹につかまりながら長岡さんを救助することが出来ました。

お知らせ



旧軍人恩給未達者は届け出を

旧軍人軍属で、その在職年数が不足しているため、軍人恩給を受給されていない方々を旧軍人軍属 証課まで届出ください。
恩給欠格者連盟で調査しております。

昭和五十七年度援護業務

移動相談について

昭和57年度援護業務の移動相談について、次のとおり実施致しますのでお知らせします。

- (相談事項)
 - 一、恩給法について
 - (一) 旧軍人等の加算恩給及び一時恩給等
 - (二) 旧軍人等の傷病恩給等
 - (三) 公務扶助料の請求等
 - 二、戦傷病者戦没者遺族等援護法について

行政管理庁の行政相談を

ご存じですか？

行政相談制度は、あなたのために国が設けた制度です。
役所などにかかわる仕事について、わからない、こうしてほしい、どうしたらよいか、これでは困る！などのときには行政相談を利用しましょう。

きたる10月には「行政相談週間」があります。当町では10月14日、福祉会館で行政相談を開設します。この機会に、日頃持っていた悩みや要望を申し出てくださいます。もちろん相談費用は無料で、秘密は守られます。

昭和五十七年度

福岡県警察官採用試験

- ・第一次試験日
10月24日(日)、8時30分～17時
- ・受付期間
9月6日(月)～10月5日(火)、8時30分～17時(土曜日は12時30分まで) 郵送の場合は、10月5日までの消印まで受け付けます。
- ・採用予定人員
採用人員：警察官B 一二五人
採用時期：昭和58年4月以降
- ・受験資格
警察官B：昭和30年4月2日から昭和40年4月1日までに生まれた男子(ただし学校教育法に

昭和五十八年度

サンケイ新聞奨学生募集要項

- 応募資格
京阪神、奈良、和歌山、滋賀の大学、専門(専修、各種)学校、予備校(宅浪も可) (通学を希望する25歳以下の男子)
- 応募方法
(1) 願書(奨学会指定)
(2) 健康診断書
(3) 調査書か成績証明書
各一通を事務局へ郵送または持参してください。
- 締め切り
(第一次) 57年9月30日
(第二次) 57年12月25日

進学は毎日

奨学生制度で!

一五十八年度生受付中!
毎日新聞社では、働きながら自分の力で進学出来る毎日奨学生制度を設けております。

この制度は、大学生、短大、専門、各種学校生に、各コースの奨学生制度を適用し、必要な学費の貸与、返

規定する大学(短大を除く)の卒業生、又は昭和58年3月までに大学卒業見込みの者は受験できません。
三、受験手続
申込用紙の請求先
福岡市博多区東公園7番7号
(〒812)
福岡県警察本部警務課採用係

済不要の奨学金支給のほか、生活の一切を保証するものです。
適用地区は福岡、北九州、東京大阪、愛知、札幌とその周辺です。現在、来年度の奨学生を募集しております。
高校三年生及び予備校生の方は詳しいパンフレットを無料でお送りしますので、ハガキで左記にお申し込みください。

なお、お申し込みの際に氏名、住所の他に電話番号、在学(出身校)進学志望校と書き添えてください。
〒802 北九州市小倉北区紺屋町13-1 毎日新聞西部本社内
毎日育英会広報係
電話〇九三(五四一)三三三二
(内線四八一)

広報ほうじょう (134号)

昭和五十七年九月一日発行
発行 方城町役場
編集 総務課
印刷 協和印刷